

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

# 能ヶ谷西緑地だより

2024年10月1日号 294号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【10月の予定】

- ◆10月12日（土）（雨天翌日）
  - ・南斜面クズ取り
- ◆10月26日（土）（雨天翌日）
  - ・花広場整備
  - \* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆10月5日（土）（14:00～16:00）
  - ・ヤマユ連・手作りカフェ
  - 平和台集会所 ※時間にご注意ください
  - 問合せ：伊藤（735-8623）
  - どなたでも参加自由です。
  - 作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

9月14日（土） 晴 参加者10名

まだまだ暑くて猛暑からは逃れられないが、桜広場の草刈り作業がメイン。いつものように機械で刈る人と、鎌で刈る人に分かれて始める。

ここは7月にきれいに刈ったのに、まるでほったらかしだったように伸びている。雑草の勢力には呆れる。カンカン照りの下、なるべく日陰をさがしながら刈っていくが、途中水分補給して休む。時折吹いてくる木陰の風は涼しい。一步ふみだせば、焼けたアスファルトの道ばかりの風とは全く違って、そこも雑木林の好きな所のひとつだ。

しばしの休息から、ヨッシ!!と作業開始。しばらくして眺めると、すっかり刈られてきれいになっていた。みんなでやるとすごい、と改めて思った。

作業後お茶タイムには、Kさんのキュウりまぜまぜのヨーグルトや、Hさんの緑地産梅ゼリーなどで舌鼓。  
(宮崎)

タマゴタケ



## 【緑地に咲く】カリガネソウ（雁金草）



シソ科に属する多年草の植物の1つです。ホカケソウとも呼ばれています。

和名は、花の形を飛ぶ雁に見立てたものです。

青紫色の花を咲かせ 独特の強い香りがありますので、好みが分かります。花期は9月から10月頃、花丈は、大きくなると高さ1m程にもなります。

(長谷部)

9月28日(土) 曇り 参加者10名

中央広場から花広場に架かる階段は、半年に一度は修繕している。今年は通行者の増加、多雨・豪雨、及び落下枝の直撃等により木材の劣化が激しく、4段が崩れ落ちてしまった。

以前に切り倒して保管しておいた杉をIさんが切断し、削って板に加工したものを使って、男性陣が3人がかりでしっかりした階段を作り上げた。二、三年は持ち堪えてくれるだろう。

南斜面は夏の猛暑をものともせず、クズがフェンスに覆い被さる様に繁茂している。クズの花は美しいが、やはり「モンスタープランツ」と海外では嫌われているだけに厄介な植物だ。クズ、イタドリ、セイダカアワダチソウ、この悪役3種との格闘は、蒸し暑い中二時間以上続き、作業者の体力を容赦なく奪う。

作業後、花広場で育てたレモングラス入り紅茶が、へろへろになった身体を少しばかり労わってくれた。これも緑地の魅力の一つかもしれない。

(かつた)



緑地入り口に看板がつけられました。

【緑地の樹】

## 秋咲きツツジ

プロフィール: ツツジ目ツツジ科の常緑小低木

春に咲くツツジは、以前この欄でも紹介しましたが（2021年4月号）、毎年秋になって他の花が終わったところに咲く、秋咲きのツツジが、花広場の入り口近くに立っています。園芸種はあまりにもいろいろあるので、名前はわかりませんが、今ちょうど花をいっぱい咲かせてくれています。

春を彩る赤やピンクのツツジの花よりは地味な白い花で、春に咲いていても見過ごしてしまいがちですが、今は他の花が咲いていない季節なのでうれしいです。それに、とてもすてきな香り！

でも、春に咲こうとか、いや、秋にももう一度咲いてみようかなど、誰がどうやって決めるのでしょうか、不思議ですね。

(小川)



秋にもまた咲きました！  
「花粉をつけてね」と、雌しべを長く伸ばしています。

## 緑地で発見！ クツワムシ



Sさん宅に入り込んだクツワム

以前はガチャガチャと騒がしく鳴いていたクツワムシですが、最近は全く見られなくなりました。東京都では絶滅危惧種に指定されています。

でも、緑地では健在なのでしょうか。家の中に入り込んでびっくりしたという証言も。

クツワムシは夜行性です。夜、緑地を通ったら、鳴いているかもしれませんね。

ぜひ、聞いてみたい！

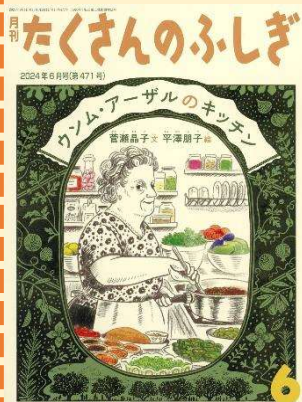
- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しみましょう。
- ◆ ご意見がありましたら [nishiryokuchi@gmail.com](mailto:nishiryokuchi@gmail.com) まで  
「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）  
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>  
配信希望の方は、[nishiryokuchi@gmail.com](mailto:nishiryokuchi@gmail.com) まで

【緑地を楽しむ本】

『ウムム・アーザルのキッチン』  
月刊たくさんのふしぎ 2024年6月号

菅瀬晶子 文 平澤朋子 絵 福音館書店



イスラエルとハマスの戦闘はまだ終わりが見えません。日々、死亡者の数の報告に胸を痛めている人は沢山いるでしょう。

ウムム・アーザルとはアーザルのお母さんという意味で、イスラエルに住むアラブ人の女性。そしてキリスト教徒です。このような人はイスラエルに1.4%しかいません。彼女はハイファという街に住み、70歳以上ですが週に1回修道院のキッチンで昼食を作っています。ハイファはアラブ人とユダヤ人が平和に暮らせるイスラエルでただ一つの街です。

アラブ人はユダヤ人に比べると給料は低く、差別を受けています。

ウムム・アーザルは働かなくなった夫に代わり、修道院の厨房で働いて4人の子どもを育てました。

この本を読むと色々なアラブ料理が出てきて興味深いです。そして、イスラエルで生きているアラブ人に思いをはせることができます。

(齋藤好子)

【やまゆ連・手作りカフェー】

折り紙

9月7日(土) 10:00~12:00 平和台集会所

お正月以来、折り紙やあやとりなど昔遊びが続いています。今回も折り紙で、ミニチュア傘を作ったり、シャツの形のプレゼントバッグを作りました。

アロハシャツの形の、楊枝入れはよく見ますが、今回のプレゼントバッグはそれより少し大きくて、あめやチョコレート、クッキーなどを入れてプレゼントするのにぴったり。

A4の大きさの紙を使いましたが、もっと大きい紙を使えば、より大きなものを入れられます。

まず紙を二つに折って…と調子良く始めましたが、袖の形を折るところで一苦労。でも、反対側の端に衿を折ってそこに身頃を差し込むと、あーら不思議!アロハシャツができあがっています。

今回はそれぞれが作ったプレゼントバッグに小さいゼリーを入れて持ち帰りました。

ミニ傘は、折り紙1枚とその1/4の折り紙1枚(柄の部分用)を使います。

傘の部分は鶴やアヤメの折り方に似ています。小さい折り紙でこよりをつくり、傘に突き刺して柄にするのですが、しっかりこよりを巻くのが意外と難しかったです。

カフェメニュー: わらび餅 (小川)

